

2014 年度センター試験 数学 1A

第 1 問

[1] $a = \frac{1+\sqrt{3}}{1+\sqrt{2}}$, $b = \frac{1-\sqrt{3}}{1-\sqrt{2}}$ とする。

(1) $ab = \boxed{\text{ア}}$

$$a + b = \boxed{\text{イ}} \left(\boxed{\text{ウエ}} + \sqrt{\boxed{\text{オ}}} \right)$$

$$a^2 + b^2 = \boxed{\text{カ}} \left(\boxed{\text{キ}} - \sqrt{\boxed{\text{ク}}} \right)$$

である。

(2) $ab = \boxed{\text{ア}}$ と $a^2 + b^2 + 4(a + b) = \boxed{\text{ケコ}}$ から、 a は

$$a^4 + \boxed{\text{サ}} a^3 - \boxed{\text{シス}} a^2 + \boxed{\text{セ}} a + \boxed{\text{ソ}} = 0$$

を満たすことがわかる。

(1)

$$ab = \frac{(1+\sqrt{3})(1-\sqrt{3})}{(1+\sqrt{2})(1-\sqrt{2})} = \frac{1-3}{1-2} = 2$$

a, b を変形すると以下の通りになる。

$$a = \frac{(1+\sqrt{3})(1-\sqrt{2})}{(1+\sqrt{2})(1-\sqrt{2})} = \frac{1-\sqrt{2}+\sqrt{3}-\sqrt{6}}{1-2} = \sqrt{6} - \sqrt{3} + \sqrt{2} - 1$$

$$b = \frac{(1 - \sqrt{3})(1 + \sqrt{2})}{(1 - \sqrt{2})(1 + \sqrt{2})} = \frac{1 + \sqrt{2} - \sqrt{3} - \sqrt{6}}{1 - 2} = \sqrt{6} + \sqrt{3} - \sqrt{2} - 1$$

このことから

$$a + b = (\sqrt{6} - \sqrt{3} + \sqrt{2} - 1) + (\sqrt{6} + \sqrt{3} - \sqrt{2} - 1)$$

$$= -2 + 2\sqrt{6}$$

$$= 2(-1 + \sqrt{6})$$

$$a^2 + b^2 = (a + b)^2 - 2ab$$

$$= (-2 + 2\sqrt{6})^2 - 2 \times 2$$

$$= 4 - 8\sqrt{6} + 24 - 4$$

$$= 24 - 8\sqrt{6}$$

$$= 8(3 - \sqrt{6})$$

(2) (1) の結果から

$$a^2 + b^2 + 4(a + b) = 24 - 8\sqrt{6} + 4(-2 + 2\sqrt{6})$$

$$= 24 - 8$$

$$= \mathbf{16}$$

となる。この式の両辺に a^2 を掛ける。

$$\begin{aligned} a^4 + a^2 b^2 + 4(a^3 + a^2 b) &= 16 a^2 \\ \Rightarrow a^4 + (ab)^2 + 4a^3 + 4a \times ab - 16 a^2 &= 0 \end{aligned}$$

$ab = 2$ より

$$\begin{aligned} a^4 + 4 + 4a^3 + 8a - 16a^2 &= 0 \\ \Rightarrow a^4 + 4a^3 - 16a^2 + 8a + 4 &= 0 \end{aligned}$$

[2] 集合 U を $U = \{n | n \text{ は } 5 < \sqrt{n} < 6 \text{ を満たす自然数}\}$ で定め、また、 U の部分集合 P, Q, R, S を次のように定める。

$$P = \{n | n \in U \text{ かつ } n \text{ は } 4 \text{ の倍数}\}$$

$$Q = \{n | n \in U \text{ かつ } n \text{ は } 5 \text{ の倍数}\}$$

$$R = \{n | n \in U \text{ かつ } n \text{ は } 6 \text{ の倍数}\}$$

$$S = \{n | n \in U \text{ かつ } n \text{ は } 7 \text{ の倍数}\}$$

全体集合を U とする。集合 P の補集合を \bar{P} で表し、同様に Q, R, S の補集合をそれぞれ $\bar{Q}, \bar{R}, \bar{S}$ で表す。

(1) U の要素の個数は 個である。

(2) 次の 0. ~ 4. で与えられた集合のうち、空集合であるものは 、 である。

、 に当てはまるものを、次の 0. ~ 4. のうちから一つずつ選べ。ただし、、 の解答の順序は問わない。

0. $P \cap R$ 1. $P \cap S$ 2. $Q \cap R$ 3. $P \cap \bar{Q}$ 4. $R \cap \bar{Q}$

(3) 集合 X が集合 Y の部分集合であるとき、 $X \subset Y$ と表す。このとき、次の 0. ~ 4. のうち、部分集合の関係について成り立つものは 、 である。

、 に当てはまるものを、次の 0. ~ 4. のうちから一つずつ選べ。ただし、、 の解答の順序は問わない。

0. $P \cup R \subset \bar{Q}$ 1. $S \cap \bar{Q} \subset P$ 2. $\bar{Q} \cap \bar{S} \subset \bar{P}$

3. $\bar{P} \cup \bar{Q} \subset \bar{S}$ 4. $\bar{R} \cap \bar{S} \subset \bar{Q}$

(1) $5 < \sqrt{n} < 6 \Leftrightarrow 25 < n < 36$ より、 $U = \{26, 27, \dots, 35\}$ よって U の要素の個数は 10 個である。

P, Q, R, S の要素を書き出すと以下の通りになる。

$$P = \{n | n \in U \text{ かつ } n \text{ は } 4 \text{ の倍数}\} = \{28, 32\}$$

$$Q = \{n | n \in U \text{ かつ } n \text{ は } 5 \text{ の倍数}\} = \{30, 35\}$$

$$R = \{n | n \in U \text{ かつ } n \text{ は } 6 \text{ の倍数}\} = \{30\}$$

$$S = \{n | n \in U \text{ かつ } n \text{ は } 7 \text{ の倍数}\} = \{28, 35\}$$

(2) $P \cap R = \phi$, $P \cap S = \{28\}$, $Q \cap R = \{30\}$, $P \cap \bar{Q} = \{28, 32\}$,
 $R \cap \bar{Q} = \phi$ となるため、空集合であるものは 0. と 4. である。

(3) 各選択肢の命題が成り立つか調べていく。

$30 \in P \cup R$, $30 \notin \bar{Q}$ であるため、 $P \cup R \subset \bar{Q}$ は成り立たない。

$S \cap \bar{Q} = \{28\} \subset P$ であるため、 $S \cap \bar{Q} \subset P$ は成り立つ。

$32 \in \bar{Q} \cap \bar{S}$, $32 \notin \bar{P}$ であるため、 $\bar{Q} \cap \bar{S} \subset \bar{P}$ は成り立たない。

$P \cap Q = \phi$ であるため、 $S \subset P \cap Q$ は成り立たない。よって両辺の補集合について、 $\overline{P \cap Q} = \bar{P} \cup \bar{Q} \subset \bar{S}$ も成り立たない。

$Q \subset R \cup S = \{28, 30, 35\}$ であるため、両辺の補集合について、 $\overline{R \cup S} = \bar{R} \cap \bar{S} \subset \bar{Q}$ も成り立つ。

以上から部分集合の関係が成り立つものは 1. と 4. である。